

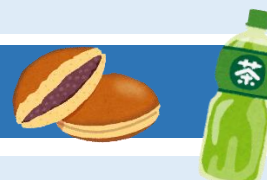
2022年度 第2回 子育て茶話会を開催しました

9月17日、第2回子育て茶話会を Zoom にて開催しました。保護者3名・教職員4名、計7名が出席しました。今回は、思春期ならではの“反抗期”が大きなテーマとなり、保護者がどのように受け止め、対応するかなど話し合いました。

次回は10月29日(土)14時を予定しています(詳細は追ってお知らせします)。

保護者の皆さま、ぜひお気軽にご参加ください。

参加者の感想をご紹介します(抜粋)



- 子育て茶話会に参加させて頂き、有難うございました。皆さんのお話を聞いていて、息子が中学生だった頃の事を思い出しました。あの頃は確かに、息子も思春期であり、大人になる為に心が葛藤していた情緒不安定な時期であったのだな。と改めて感じました。そんな時に、親としてどのように接したら良いか…一人で悩むのではなく、相談できる、話を聞いてくれる、そんな場がある事は救いです。「ほっとできる」「なんでも話せる」そんな子育て茶話会、これからも続けて行って欲しいと思います。(保護者)
- 校長先生、スクールカウンセラーの前澤先生、養護教諭の先生方、卒業生の保護者様、在校生の保護者様と楽しい時間を過ごせました。今回は心の整理がついたことがあります。前澤カウンセラーのアドバイスがとても心に刺さり、心が明るくなりました。日頃の子供の反抗的な態度や言葉について、「思春期真っ盛りで、親と対等な人間関係を築こうとしていること。自分の価値観が生まれ、親とは違う自分という存在に気がついてきたこと。それを認めてほしいからぶつけてくるということ。子供が一番信頼していて、受け止めてもらえる人に態度や言葉で表現してくること」という、思春期の特徴を伺いました。子供を受け入れ、受け止めようと、私が我慢するだけが良いことではなく、理不尽なこと、常識や法律を逸脱している子供の発言にはきちんと、善悪や本音できちんと対応した方が良いこともわかりました。先輩の保護者の方が、私の悩みを聞いて、「そういうことがあったことを思い出しました」とおっしゃった時、子供は幼い頃とは異なる段階の成長をして、ちゃんと階段を登っていつているんだと実感しました。松浦校長先生から、女性教員が母親役のような立場におかれ、生徒の言葉に深く傷つくことがあると伺いました。情報が溢れる社会で生きる子供たちは、年齢的にも正しい情報を見極めるのが難しいのではと思います。子供の正しい心、秩序を守るためにも、子供に干渉するのではなく、毎日見守り続けなければならないと感じました。ありがとうございました。(保護者)
- 思春期は疾風怒濤の時代と感じました。親同士辛さを分かち合った茶話会でした。子どもは親と対等な関係を作ろうとあがき、受け止めてくれるから反抗するという言葉が印象的です。苦しい時こそ夫婦で同じ方針でいたいけれどそれも難しい。私自身の夫婦関係を振り返ると闘争と和睦の繰り返し、子どもが巣立って余裕が出た頃ようやく相手をいたわっていいかなと思うようになりました。(教員)